



超速効型インスリン製剤の注射タイミング



超速効型インスリン製剤は作用発現が速いため、
食事の準備ができており、**すぐに食べられる状態**
(いただきますの直前)で注射するよう指導をお願いします

重要!

オーダー時の注意点

超速効型インスリン製剤の用法は
食直前 (食前ではありません)
をお願いします。



院内採用の超速効型のインスリンを含む製剤

超速効型製剤

- ・ノボラピッド注フレックスタッチ
- ・ノボラピッド注イノレット
- ・ヒューマログ注ミリオペン
- ・アピドラ注ソロスター
- ・インスリンリスプロBS注
ソロスターHU「サノフィ」※1
- ・ルムジェブ注ミリオペン ※2

混合・配合型製剤

- ・ノボラピッド50ミックス注フレックスペン
- ・ノボラピッド70ミックス注フレックスペン
- ・ヒューマログミックス25注ミリオペン
- ・ライゾデグ配合注フレックスタッチ

(注) 本記事作成時現在の院内採用薬

※1 **NEW** インスリンリスプロBS注ソロスターHU「サノフィ」

既存品である超速効型インスリンアナログ製剤「ヒューマログ注」
(一般名：インスリン リスプロ) と同じアミノ酸配列を有しており、
超速効型インスリン製剤の**バイオ後続品 (バイオシミラー)** です。



※2 **NEW** ルムジェブ注ミリオペン

既存品である超速効型インスリンアナログ製剤「ヒューマログ注」
(一般名：インスリン リスプロ) の有効成分に添加剤を加えること
で、**皮下からの吸収を速めた製品**です。通常、**毎食事開始時 (食事
の前2分以内)** に皮下注射します。必要な場合は、**食事開始後 (食
事開始後20分以内)** の投与に変更することも可能です。



<院内限定> 京都大学医学部附属病院